

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構
神戸中央病院
〒651-1145
神戸市北区惣山町2丁目1-1
TEL 078-594-2211
FAX 078-594-2244
<http://kobe.jcho.go.jp/>

院長のご挨拶

病院長 松本 圭吾



令和3年度の始業にあたりご挨拶申し上げます。
新型コロナウイルスが日本に「上陸」してはや1年が過ぎました。100年一度といわれる今回のパンデミックが日本においても社会、経済、医療に与えた影響は甚大です。11月～3月にかけての大きな第3波は2度目の緊急事態宣言によりピークアウトしたものの変異型による第4波が拡大しています。現在、ようやく有効なワクチンが流通し始め、接種も始まっておりますが、まだ暫くはウイルスとの共存が必要となると思われます。さて、19世紀のロンドンでのコレラの流行が都市の上下水道の整備に繋がったことなど歴史的にも疫病がその後の社会を変える起点となったことは枚挙に暇がありません。当院においても今回のコロナ禍によりチーム医療の重要性の再認識と院内外でのオンラインによる発信・コミュニケーションが促進されたと思われまます。今回のパンデミックにおいて、当院は行政の指示のもと患者の受け入れをしてまいりました。幸い現在まで関連施設も含めて大きなクラスターの発生なしに来ておりますが、病院スタッフの感染対策の順守への敬意とともに地域の皆様のご協力に感謝いたします。

さて、今年度は、循環器内科、整形外科の体制の拡充と欠員がある消化器内科でスタッフが補充され、当院は急性期総合病院としての充実した態勢づくりへ動いてまいります。また、地域の医療・介護スタッフに対する情報提供・研修については、オンラインによるリモート会議も導入予定で、ポストコロナ、ウィズコロナ時代に即した発信体制をつくってまいります。

今春に新たに着任する常勤職員は80名近くになります。この新しい力とともに更なる地域医療の発展に尽くしたいと考えております。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

副院長就任のご挨拶

副院長 谷 直樹



このたび副院長を拝命しました。卒後27年、過ぎてしまうと長い期間には感じませんが、医療を取り巻く環境は大きく変わりました。私が医者になった頃は「インフォームドコンセント」という言葉すら定着していない時代でしたが、その後急速に医療安全関連が整備され、研修体制の見直しなどがありました。また医療内容自体も大きく進歩し、各分野における専門分化が進みました。しかし細分化し過ぎると、特定の科に負担がかかるようなデメリットも見られるようになりました。当院が今後も地域での役割を安定して果たしていけるように、職員が一丸となってチームワークを発揮できるよう頑張っていまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

てつもと眼科

〒651-1221 兵庫県神戸市北区緑町7-2-3

TEL 078-582-2638 FAX 078-582-2659

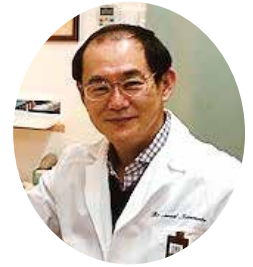
HP▶<https://tetsumotoganka.com/>

診療科目: 眼科

診療時間:

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	手術	●	●	●	×
15:00~18:00	●	●	手術	●	手術	×	×

※第3木曜日は午後休診。 ※初診受付は17:30まで



鉄本 員章先生



阪神淡路大震災のあった 1995 年に神戸大学眼科の人事で神戸労災病院から、現在の JCHO 神戸中央病院に異動となりました。2002 年まで 7 年間、眼科でお世話になり、多数の症例を経験させて頂きました。同年 9 月に山の街駅前の医療ビルで眼科医院を開業して、19 年目を迎えます。

眼科は全身疾患との関わりも多く、JCHO の先生方には眼科のみならず、脳外科、神経内科、糖尿病内科など何かとお世話になり感謝しております。震災当時も大変でしたが、現在は長引くコロナ禍で医療従事者はストレスの多い日々です。推奨される感染対策を取り入れて日々粛々と自分の出来ることをしていきたいと思っています。

この原稿を書いている 2 月半ば過ぎから、同意を得た全国 100 の医療機関でコロナワクチンの先行接種が始まり、兵庫県でも JCHO を含む 4 病院でスタートしました。これを機に少しでも、終息に向かうことを心待ちしています。

研修医(1年次)



イシヅ ユウスケ
石津 雄亮

4 月から研修医としてお世話になります石津です。出身は京都ですが、神戸市で研修できることを嬉しく思います。精一杯働きますので宜しくお願いします。



マツヨシ キョウヘイ
松吉 恭平

4 月から研修医としてお世話になります。京都府出身、兵庫医科大学卒業です。精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。



タケモト ナオコ
武本 奈緒子

4 月から研修医としてお世話になります。徳島県出身の武本奈緒子と申します。至らぬ点も多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



タケダ リュウキ
武田 隆希

4 月より前期研修医としてお世話になります。一生懸命頑張りますので、これからよろしくお願いたします。



ナカニシ リョウ
中西 諒



4 月から研修医として働かせていただきます中西と申します。医療従事者として精進してまいりますので、何卒よろしくお願いたします。



キムラ ヒナノ
木村 ひなの

生まれ育った兵庫県で研修できることを嬉しく思います。少しでもお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いたします。

新任医師紹介

 <p>オカヤマ アキラ 岡山 明洙：整形外科</p> <p>4月より赴任致しました。北区の皆様の運動器治療の最後の砦となるよう臨みます。よろしくお願い致します。</p>	 <p>フクナガ タケシ 福永 武史：外科</p> <p>4月より外科で勤務させていただきます。地域の皆様のお役に立てるようがんばります。よろしくお願い致します。</p>	 <p>ツマ ユウスケ 都間 佑介：小児科</p> <p>4月より赴任いたしました。2013年から3年間当院で勤務して以来、神戸は5年ぶりとなります。地域医療に貢献できるように頑張りますので、よろしくお願い致します。</p>
 <p>カンバラ シュンイチロウ 神原 俊一郎：整形外科</p> <p>4月より赴任しました。私が赴任したことにより当院で関節鏡を用いた低侵襲手術を新たに行うことが可能となりました。症例などございましたらお気軽にご紹介、相談下さい。</p>	 <p>キダ リョウタ 木田 遼太：循環器内科</p> <p>高知より参りました。皆さまのより良い健康の力添えができればと思います。登山、筋トレが好きです。よろしくお願い致します。</p>	 <p>イノクチ ノエル 井ノ口 乃英瑠：呼吸器内科</p> <p>4月より赴任致しました。肺癌を初め、呼吸器内科のごことでご相談があれば適宜相談、ご紹介下さい。よろしくお願い致します。</p>
 <p>ススキ ノブヨシ 鈴木 伸芳：整形外科</p> <p>4月より赴任致しました。地域医療に少しでも貢献できるように精進して参ります。宜しくお願い致します。</p>	 <p>デグチ ユウキ 出口 雄規：循環器内科</p> <p>千葉県からの異動になり、初めての関西地方での勤務となります。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。</p>	 <p>アオキ タクマ 青木 拓磨：脳神経外科</p> <p>4月より脳神経外科にて勤務させていただきます。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。</p>
 <p>ユカワ クニヒロ 湯川 晋弘：整形外科</p> <p>4月より整形外科で勤務させていただきます。少しでも地域の皆様にご貢献できるように精進致しますので宜しくお願い致します。</p>	 <p>ヤマダ タカヒロ 安田 貴裕：循環器内科</p> <p>4月より循環器内科で勤務させていただきます。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りますので宜しくお願い致します。</p>	 <p>ナカノ ヒカリ 中野 妃加里：歯科口腔外科</p> <p>4月より神戸大学医学部附属病院より歯科口腔外科に赴任して参りました。痛みの少ない迅速で丁寧な治療を目指したいと思います。よろしくお願い致します。</p>
 <p>ミタ ヒロユキ 多田 浩之：外科・消化器外科</p> <p>4月より赴任致しました。わかりやすい説明を心がけ、地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。</p>	 <p>オガワ トモヒロ 小川 智広：消化器内科</p> <p>4月より赴任致しました。神戸市北区の医療に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願い致します。</p>	 <p>ムカイ ノブヒロ 向井 信弘：麻酔科</p> <p>4月より赴任してまいりました。少しでも地域医療に貢献できるように頑張ります。</p>
 <p>ワタナベ ノブユキ 渡邊 信之：外科・消化器外科</p> <p>4月から外科で勤務させていただきます。安心、安全な手術を心掛けて、がんばっていきます。よろしくお願い致します。</p>	 <p>エダ ヒロツグ 江田 裕嗣：消化器内科</p> <p>4月より兵庫医科大学より異動となりました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願い致します。</p>	

退任医師のお知らせ

外科：中川 登	脳神経内科：小別所 博	循環器内科：津端 英雄	整形外科：齋木 大器
外科：藤山 准真	歯科口腔外科：三谷 泉	消化器内科：大石 崇史	糖尿病内科：花山 亜沙
外科：水谷 融	歯科口腔外科：大橋 雄高	小児科：金田 大介	内科：大野 慶
外科：石田 怜	耳鼻いんこう科：高畠 伶奈	整形外科：大東 昌史	脳神経外科：久岡 聡史

研修医：山根 菜都乃 足立 紫音 木谷 圭佑 坂井 卓人 佐堀 暢也 竹内 康浩 上村 彩香



当院のカテーテルアブレーション治療の現状について

当院では2018年5月から不整脈に対してカテーテルアブレーション治療を開始し、まもなく3年が経過します。2021年3月末までに325症例(心房細動症例は242症例)にアブレーション治療を施行いたしました。昨年は新型コロナウイルス感染拡大のため、動悸が軽度の患者さまの治療は延期するなどの対応を行いました。徐脈頻脈症候群や心不全を伴う持続性心房細動など治療を先延ばしにできない患者さまには随時治療を行いました。

当院のアブレーション治療では昨年中に2つの大きな変化がありました。一つは心房細動の治療としてクライオバルーン(CB)による冷凍凝固アブレーションの導入です。昨年4月に施設認可を受け、今年3月末までに31症例に冷凍凝固アブレーションを施行しました。CBでの治療は高周波での治療に比較して手術時間が短く、心タンポナーデの合併症が少なく、治療成績も遜色ありません1),2)。また、薬剤抵抗性持続性心房細動の治療におけるCBによる冷凍凝固アブレーションの有効性と安全性が証明され3)、昨年11月から日本においても同治療が持続性心房細動にも適応となり、非常に良いタイミングで導入できたと思っております。

もう一つの変化は、全身麻酔下でのアブレーション治療を開始したことです。当院麻酔科の協力のもと、麻酔科医師が気管挿管を行い、手技中は人工呼吸器での呼吸管理を行います。全症例ではなく、心房細動への治療を行う患者さまで睡眠時無呼吸症候群(SAS)と診断されている、もしくは疑われる患者さまを対象としており、すでに18症例に施行しました。SASの患者さまに非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)を用いても無呼吸とその後の深呼吸をコントロールできず、不安定な呼吸がアブレーション治療による合併症の増加および治療成績の低下を惹起する可能性があり、厳格な呼吸コントロールが理想です4)。ラリンジアルマスクでの全身麻酔は多くの施設で行われておりますが、麻酔科医師による気管挿管での呼吸管理は珍しく、より安全に的確な治療を行うことができます。

不整脈は日常生活、人生に影響を及ぼします。特に心房細動は脳梗塞はもちろんのこと心不全の原因になり、認知症との関連も示唆されるなど5)、様々な問題を引き起こす非常に厄介な不整脈であり、洞調律維持を目指すことは非常に重要であると考えております。当院では引き続き地域の先生方、患者さまに信頼していただける不整脈治療を心がけ、より一層尽力して参ります。不整脈のコントロールの難しい患者さんがおられましたら、いつでもお気軽にご相談ください。4月から水曜日の田中外来の日、木曜日の大岡医師もアブレーションを含め積極的に不整脈の診療に携わっておりますので、ご紹介いただければ幸いです。

- 1) Europace, 2015 May;17(5):718-24.
- 2) Circ J 2016; 80: 1744-1749
- 3) Heart Rhythm 2020 Nov;17(11):1841-1847
- 4) Heart Rhythm 2011 Mar;8(3):368-72
- 5) Heart Rhythm, Vol 9, No 11, November 2012

<クライオバルーンによる冷凍凝固アブレーション後の非再発率>

- *日本全国33施設
- *2014/7/1~2014/10/19 の間に616例のPAF症例に Cryoballoonによる肺静脈隔離を施行
- *328例を6ヶ月follow up

Circ J 2016; 80: 1744-1749

